

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

自由進度学習を取り入れた単元構成

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して、1年数学「比例と反比例」を次のような単元計画で学習した。

1. 関数について従来型の授業で学習する。
2. 一人一人、単元課題を設定する。（図1）
3. 毎時間、学習方法を選択しながら、比例と反比例の基礎・基本について個別に学習する。（図2、3）
4. 学んだことをレポートにまとめる。
5. 学習したことを踏まえて、比例と反比例の利用について従来型の授業で学習する。

- 学び方の選択は、徐々にAIドリルが増えていった。指導者は、客観的な評価がリアルタイムで更新されていくため、習熟度と進捗状況を見ながら、内容ごとに全体で確認する時間を適宜設けることができた。
- Wordや学習支援ソフトでまとめた生徒のレポートは、クラウド上で全員の作成過程が見られるようになっている。生徒は、他者参照しながら、自分のレポートに足りない部分を、教科書やインターネットなどで更に調べて補うなどしていた。
- レポートの振り返り記述には「学び方を学ぶことができた」等、本単元での取り組みを好意的に評価している生徒が多かった。
- 単元末の秋田県単元評価問題の結果が他単元と同程度の通過率であったことから、通常より短時間で従来型の授業と同程度の学習成果を上げることができたといえる。

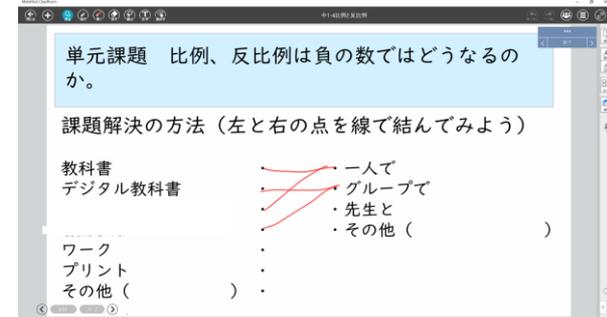


図1 単元課題の設定と学び方の見直し

	10/27	一人	ペア	グループ	先生	その他
教科書		選択 購入			選択	
デジタル教科書						
Dマークコンテンツ						
AIドリル	選択 購入	選択 購入				
ワーク						
プリント						
その他		購入 選択				

図2 1時間ごとの学び方の選択



図3 AIドリルの取組状況